

平成24年度事業報告

I. 一般事項

1. 会員状況

平成24年度の会員異動状況は、次のとおりである。

会員種別	平成23年度末 会員数	入会数	退会数	増減	平成24年度末 会員数
正会員	131	0	8	△8	123
賛助会員	12	0	0	0	12
合計	143	0	8	△8	135

2. 理事会

(1) 理事会決議（平成24年4月27日）

平成23年度事業報告の承認に関する件、平成23年度決算の承認に関する件、役員選任議案に関する件、定款の変更議案に関する件、役員報酬の改正議案に関する件及び平成24年度通常総会に関する件につき、平成24年4月19日に会長が提案書を発し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示を得たので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 第1回理事会（平成24年5月15日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）において開催し、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告を行った。

(3) 第2回理事会（平成24年5月15日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）において開催し、会長・副会長等の選任に関する件、専務理事の執行業務に関する件、専務理事の報酬に関する件及び外部役員との損害賠償責任限定契約の締結に関する件について審議し、それぞれ原案のとおり決議した。

(4) 理事会決議（平成24年5月25日）

旅費規則の改正に関する件、事務処理規程の改正に関する件、会計処理規程の改正に関する件、就業規程の改正に関する件、職員給与規程の改正に関する件、職員退職規程の改正に関する件、契約職員の就業及び給与に関する規則の改正に関する件及び諸規程の名称変更に関する件につき、平成24年5月18日に会長が提案書を発し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示を得たので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(5) 理事会決議（平成 24 年 9 月 21 日）

事務局長の任命の件につき、平成 24 年 9 月 5 日に会長が提案書を発し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示を得たので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(6) 理事会決議（平成 25 年 1 月 25 日）

一般社団法人環境不動産普及促進機構への設立参加に関する件につき、平成 25 年 1 月 25 日に会長が提案書を発し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示を得たので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(7) 第 3 回理事会（平成 25 年 3 月 11 日）

BELCA 会議室において開催し、会長が作成した平成 25 年度事業計画及び収支予算書等について審議し、承認した。

3. 総会

第 1 回総会（平成 24 年 5 月 15 日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）において開催し、平成 23 年度決算に関する件、幹事会員の選任に関する件、役員選任に関する件、定款の変更に関する件及び役員報酬規程の改正に関する件について審議し、原案のとおり決議・承認した。

4. 委員会活動

(1) 企画運営会議

企画運営会議（議長：米川 聡 大成建設(株)）を次のとおり 7 回（うち書面開催 2 回）開催した。

1) 第 1 回（平成 24 年 4 月 19 日）

平成 24 年度第 1 回理事会・第 1 回通常総会の議案等について審議した。

2) 企画運営会議決議（平成 24 年 6 月 14 日）

事務局長の任命に関する理事会議案について書面によって審議した。

3) 第 2 回（平成 24 年 7 月 19 日）

事業推進委員会委員の承認、事務局長の任命に関する理事会議案等について審議した。

4) 第 3 回（平成 24 年 9 月 20 日）

設立 25 周年を機とした、BELCA の活動等の改善や充実について委員会を設けて検討を進めることを審議した。

5) 第4回（平成24年12月13日）

平成25年度事業計画（骨子）及び収支予算（骨格）等について審議した。

6) 企画運営会議決議（平成25年1月25日）

一般社団法人環境不動産普及促進機構の設立に際し、BELCAが設立時社員となり、BELCAの役員を設立時役員に推薦する理事会議案について書面によって審議した。

7) 第5回（平成25年2月21日）

平成25年度事業計画案及び収支予算案等について審議した。

(2) 事業推進委員会

委員会（委員長：鈴木 康史 東京建物(株)）を2回開催し、調査研究・指針作成に係る中期計画の策定を目指して、これまでBELCAで取り組んできた調査研究、指針作成等について総括するとともに、今後のテーマについて検討を行った。

(3) アドバイザリー委員会

委員会（委員長：米川 聡 大成建設(株)）を1回開催し、事業計画及び今後の活動等について、助言を得た。

(4) BELCA活動検討委員会

委員会（委員長：坂本 功 東京大学名誉教授）を2回開催し、設立25周年を機にBELCAの活動が一層、建築物のロングライフ化に向けた関係者の取り組みを支援し、また、会員として参画する意義を高めることができるよう、その改善や充実について検討を行った。

II. 平成24年度の事業概要

1. ロングライフ化に資する人材の育成

(1) 「建築・設備総合管理技術者」資格取得講習の開催、資格付与・登録

「建築・設備総合管理技術者」について、認定委員会（委員長：山本 康友 首都大学東京特任教授）及び講習委員会（委員長：円満 隆平 金沢工業大学教授）の下に、次のとおり「建築・設備総合管理技術者」資格取得講習を開催し、修了者47名を資格者として登録した。また、「建築・設備総合管理技術者」更新登録にて182名を更新登録した。

なお、平成24年度末現在の「建築・設備総合管理技術者」資格登録者総数は997名となった。

開催地	開催期間	受講者	修了者
東京	平成24年11月7日～9日	37名	35名
大阪	平成24年11月14日～16日	15名	12名
	合計	52名	47名

(2) 「建築仕上診断技術者」資格取得講習等の開催、資格付与・登録

「建築仕上診断技術者（ビルディングドクター＜非構造＞）」について、認定委員会（委員長：坂本 功 東京大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：近藤 照夫 ものつくり大学教授）の下に、次のとおり「建築仕上診断技術者」資格取得講習を開催し、修了者311名を資格者として登録した。また、「建築仕上診断技術者」資格更新講習の修了者1,014名を更新登録した。

なお、平成24年度末現在の「建築仕上診断技術者」資格登録者総数は5,306名となった。

1) 資格取得講習

開催地	開催期間	受講者	修了者
東京	平成24年9月19日～21日	165名	133名
大阪	平成24年9月26日～28日	68名	64名
福岡	平成24年10月3日～5日	88名	70名
名古屋	平成24年10月10日～12日	54名	44名
	合計	375名	311名

2) 更新講習

開催地	開催日	修了者
東京	平成25年2月8日	402名
大阪	平成25年2月15日	227名
福岡	平成25年2月22日	206名
在宅		179名
	合計	1,014名

(3) 「建築設備診断技術者」資格取得講習等の開催、資格付与・登録

一般財団法人日本建築設備・昇降機センターと共同で資格付与している「建築設備診断技術者（ビルディングドクター＜建築設備＞）」について、認定委員会（委員長：鎌田 元康 東京大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：川瀬 貴晴 千葉大学大学院教授）の下に、「建築設備診断技術者」資格取得講習を開催し、修了者143名を資格者として登録した。また、「建築設備診断技術者」資格更新講習の修了者540名を更新登録した。

なお、平成24年度末現在の「建築設備診断技術者」資格登録者総数は3,554名となった。

1) 資格取得講習

開催地	開催期間	受講者	修了者
大阪	平成 24 年 7 月 4 日～ 6 日	45 名	44 名
東京	平成 24 年 7 月 18 日～20 日	109 名	99 名
	合 計	154 名	143 名

2) 更新講習

開催地	開催日	修了者
東京	平成 25 年 1 月 18 日	336 名
大阪	平成 25 年 1 月 25 日	119 名
在宅		85 名
	合 計	540 名

(4) 資格者に対するフォローアップ等

「建築・設備総合管理技術者」、「建築仕上診断技術者」、「建築設備診断技術者」について、建物の所有者、診断業務の発注者等に周知し、理解を得るためのパンフレットを作成し、公共団体、資格者等に広く配布した。

また、資格者に対するフォローアップのため情報誌「BELCA Letter」を発行するとともに、資格者向けセミナーを開催し、最新の技術動向等を伝えた。

1) BELCA Letter

通巻	主な内容	発行年月
Vol. 27	「BELCA 資格者アドバイザー」からの提言、診断事例報告	平成 24 年 9 月

2) 資格者向けセミナー

① 「最近の外壁診断を取り巻く状況と「定期的診断マニュアル」の活用」

BELCA の建築仕上診断技術者を中心とした実務者への情報提供を目的に、「タイル外壁及びモルタル塗り外壁 定期的診断マニュアル（改訂第 3 版）」について、診断事例の紹介を交えながら留意点を解説するセミナーを開催した。

講演内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> 最近の外壁診断を取り巻く状況 講師：本橋 健司 氏（芝浦工業大学教授） 定期調査報告と定期的診断マニュアルの留意点 講師：小川 晴果 氏（(株)大林組） 	第 1 回 平成 24 年 5 月 30 日 第 2 回 平成 24 年 10 月 23 日	計 136 名

②「建物の非構造部（内外装）の地震被害とその対応の動向」

建築・設備総合管理技術者、建築仕上診断技術者及び建物管理者への情報提供を目的に、建物の非構造部（内外装）の地震被害とその対策について解説するセミナーを開催した。

概要	開催日	参加者
・非構造部材の地震被害とその課題 講師：坂本 功 氏（東京大学名誉教授） ・建物の内外装部の耐震対策の実施状況 講師：鈴木 貴博 氏（大成建設(株)） ・天井の脱落対策 講師：石原 直 氏（独立行政法人建築研究所）	平成 25 年 3 月 14 日	152 名

(5) ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座の開催

ファシリティマネジャー資格試験の受験者のために、一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA) と共催で、ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座を開催した。

①ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座（4日間コース）

開催地	開催期間	受講者
東 京	平成 24 年 4 月 21 日～22 日 平成 24 年 5 月 12 日～13 日	83 名

②ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座（2日間コース）

開催地	開催期間	受講者
東 京	平成 24 年 5 月 26 日～27 日	77 名
大 阪	平成 24 年 6 月 2 日～ 3 日	28 名
	合 計	105 名

③ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座（財務集中1日間コース）

開催地	開催日	受講者
東 京	平成 24 年 6 月 16 日	31 名

(6) 建築物のロングライフ化に資する研究に対する支援

選定委員会（委員長：友澤 史紀 東京大学名誉教授）で選定した次の建築物のロングライフ化に資する3件の研究に対して支援を実施した。

なお、平成24年度までの支援は、修士29名、博士9名となった。

- ・「ピンネット工法における多軸繊維ネットの性能評価およびコンクリート躯体のひび割れ進展抵抗性について」
小山 幸洋（首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 建築学域 橋高研究室（修士））
- ・「近代木造建築の構造性能に関する調査・解析的研究 ―平成 23 年東北地方太平洋沖地震による―」
松本 直之（東京大学大学院 工学研究科 建築学専攻 藤田研究室（修士））
- ・「実構造物屋外曝露試験に基づく窯業系サイディングにおける凍結融解作用係数の提案」
大澤 典恵（東京理科大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 兼松研究室（修士））

2. ロングライフ化の推進に必要な調査研究・技術開発及びその成果の情報発信

(1) 調査研究・技術開発

1) LC 評価用データの整備

委員会（委員長：山本 英雄 大成建設(株)）を 5 回開催し、平成 20 年 3 月に刊行した「建築物の LC 評価用データ集」について各種係数の時点修正を行うため、改訂方針及び作業方針の策定並びにデータ整備を行った。

2) 建築設備システムの診断評価要領の作成

委員会（委員長：川瀬 貴晴 千葉大学教授）を 4 回、電気設備・空調設備・給排水衛生設備・省エネ・耐震の 5 つのワーキンググループを計 20 回開催し、建築設備システムを対象とした診断評価要領の作成に向けて検討を行った。なお、プロジェクトの最終年度として、作成した要領の有効性の確認のため、要領及び診断補助ソフトの試行を行った。

3) BCP に対応した建物の改修等のあり方に関する検討

委員会（委員長：山本 康友 首都大学東京特任教授）を 2 回開催し、地震及び水害を対象として、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）に対応した建物に改修するための指針の策定と BCP に対応したビルの第三者認証制度の創設を目指し、BCP と建物の改修等を含む維持保全との対応関係について検討を行った。

4) 建物のバリューアップ改修等と不動産鑑定評価に共用する建物性能等診断ツールの整備

平成 23 年度の建物評価検討委員会の提言を踏まえ、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会と共同で、建物のバリューアップ改修等を促進し、不動産鑑定評価に建物の有する性能等を反映させることを目指した建物性能等診断ツールの整備に向けて、委員会を設置し、検討を開始した。

(2) 情報発信

1) 機関誌BELCA NEWSによる情報提供

BELCA NEWS 編集委員会（委員長：小松 幸夫 早稲田大学教授）を6回開催し、次のとおり機関誌BELCA NEWSを発行した。会員、学識経験者、都道府県及び政令指定都市等の住宅・営繕部局や教育委員会、報道機関等に配布し、協会活動の周知や情報の発信に努めた。

通巻	特集	発行年月
第138号	夏と冬を快適に過ごすためのパッシブ改修	平成24年5月
第139号	環境に配慮したリニューアルの施工計画と廃棄物処理	平成24年7月
第140号	予想される大震災に対してビルはどう備えるか	平成24年9月
第141号	建物の長寿命化に必要なリニューアル ーリニューアル コンバージョン そしてリノベーションー	平成24年11月
第142号	ユニバーサルデザインへの改修	平成25年1月

2) 調査研究・技術開発の成果図書による情報発信

調査研究・技術開発に係る委員会等の成果として、次の図書を刊行した。

刊行物の名称	刊行年月
建築・設備の維持保全レベルとこれをふまえた維持保全計画の策定	平成24年10月

3) セミナー等による情報発信

建物のロングライフ化に関する情報提供のため、次の5つのセミナー等を開催した。

①セミナー「昨夏の教訓を今年の節電に活かす」

ビルオーナー等を対象に、設備の運用を改善し、また、中長期的な保全計画を立てる際の参考となるよう、節電対策とその成果を解説するセミナーを開催した。

講演内容	開催日	参加者
・昨夏の節電対策と成果、今夏の課題とアクション 講師：金井 伸二 氏（東京建物(株)）	第1回 平成24年5月29日	計66名
・PMによる「テナントビルにおける節電・省エネマネジメント活動」と節電実績について 講師：吉田 淳 氏（(株)ザイマックスビルディングサイエンス）	第2回 平成24年6月7日	

②セミナー「巨大地震の発生に備えた建物の地震対策の最新動向」

東日本大震災をふまえて、長周期地震動の特性、長周期地震動対応の改修、設備の耐震対策等の最新の技術動向や国土交通省の「建築物における天井脱落対策試案」の技術的背景について解説をするセミナーを開催した。

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・長周期地震動と建物の応答 講師：大川 出 氏（独立行政法人建築研究所）・長周期地震動対応の改修 講師：細澤 治 氏（大成建設(株)）・津波避難ビルの構造設計法 講師：福山 洋 氏（独立行政法人建築研究所）・設備の被害状況と耐震対策 講師：村上 三千博 氏（高砂熱学工業(株)）・天井の脱落被害と耐震対策 講師：石原 直 氏（独立行政法人建築研究所）	平成 24 年 10 月 25 日	82 名

③セミナー「建築における瑕疵をめぐる法的問題について」

建築物のロングライフの様々なステージにおける瑕疵問題に関するセミナーを開催した。

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・建築における瑕疵をめぐる法的問題について 講師：大森 文彦 氏（弁護士・東洋大学法学部教授）	平成 25 年 1 月 30 日	127 名

④講習会「維持保全計画作成講習会」

維持保全計画作成の担当者等を対象に実務的な講習会を開催し、受講修了証を発行した。

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・維持保全計画の総論 講師：中島 修一 氏（ダイケンエンジニアリング(株)）・維持保全計画の構成と作成方法 講師：中島 修一 氏（ダイケンエンジニアリング(株)）・維持保全計画の実務事例と維持保全レベル 講師：中村 昌行 氏（東京ガス都市開発(株)）・作成演習 講師：野々山 光邦 氏（BELCA）	東京① 平成 24 年 11 月 9 日 大阪 平成 24 年 11 月 21 日 東京② 平成 25 年 3 月 15 日	計 83 名

⑤講習会「ビルリニューアルのための避難安全検証法の実務実習」

避難安全検証を適用した既存建物の事例を紹介し、ケーススタディを交えた実務的な講習会を開催した。

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・避難安全検証法の概要と避難安全検証を適用した建物の維持保全の方法 講師：太田 充 氏 ((株)明野設備研究所)・避難安全検証法を適用する目的と適用事例 講師：岸本 文一 氏 ((株)明野設備研究所)・避難安全検証法の計算方法とケーススタディ 講師：嶋田 拓 氏 ((株)明野設備研究所)	平成 25 年 3 月 27 日	15 名

4) 出張セミナーによる情報発信

会員等の要望に応じて、次のとおり社内研修に対して講師を派遣した。

①日本メックス株式会社

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・建築物のライフサイクルと建築・設備の維持管理 講師：中島 修一 氏 (ダイケンエンジニアリング(株))・ビルのバリューアップ改修 講師：久保 一二三 氏 (三菱地所(株)) 高橋 淳一 氏 (高橋建物環境技術士事務所)	平成 24 年 9 月 27 日	20 名

②東日本旅客鉄道株式会社

概要	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none">・維持保全計画の活用事例と解説 講師：中村 昌行 氏 (東京ガス都市開発(株))	平成 24 年 11 月 5 日	140 名

5) ホームページによる情報提供

BELCA 賞、BELCA 資格関連情報、ER 作成者連絡会議の活動概要等の BELCA の活動に関する情報、維持保全に関する情報等を BELCA ホームページに掲載し、情報発信を行った。

6) その他

次の展示会において、パネル展示やパンフレットの配布等による BELCA 活動の周知を行った。

名称	主催	開催期間
R&R 建築再生展 2012	R&R 建築再生展 2012 組織委員会	平成 24 年 7 月 18 日～20 日
第 14 回不動産ソリューションフェア	(株)ビル経営研究所	平成 24 年 10 月 16 日～17 日

3. ロングライフ化を助長するための表彰・評価

(1) BELCA 賞の表彰

第 22 回 BELCA 賞の表彰について、適切な維持保全を実施し、また優れた改修を実施した既存の建築物を広く募集し、BELCA 賞選考委員会（委員長：内田 祥哉 東京大学名誉教授）において、ロングライフ部門及びベストリフォーム部門の表彰建築物として次の 10 件を選定し、選定結果を BELCA NEWS や BELCA ホームページへの掲載、メディアへの公表を行って広報に努めた。

なお、第 21 回 BELCA 賞の受賞建築物について、平成 24 年 5 月 15 日の総会後に表彰式を行った。

1) **ロングライフ部門**：長期使用を考慮した設計のもとで建設されるとともに、長年にわたり適切に維持保全され、さらに、今後、相当の期間にわたって維持保全されることが計画されている、模範的な建築物

- ・旧唐津銀行本店（佐賀県唐津市）
- ・住友ビルディング（大阪府大阪市）
- ・清泉女子大学 本館（東京都品川区）
- ・西本願寺伝道院（京都府京都市）

2) **ベストリフォーム部門**：社会的・物理的な状況の変化に対応して、今後の長期使用のビジョンを持って、蘇生させる、もしくは飛躍的な価値向上等をさせるリフォームがなされた、模範的な建築物

- ・かんざんじ温泉華咲の湯・ホテルウェルシーズン浜名湖（静岡県浜松市）
- ・郡山総合運動場開成山野球場（福島県郡山市）
- ・HUNDRED CIRCUS East Tower（東京都新宿区）
- ・百十四ビル（香川県高松市）
- ・マルヤガーデンズ（鹿児島県鹿児島市）
- ・大和文華館（奈良県奈良市）

(2) ロングライフ化に資する技術等の評価

1) 公営住宅最適改善手法評価事業の実施

公営住宅最適改善手法評価委員会（委員長：吉田 倬郎 工学院大学教授）において、公営住宅の全面的改善事業の実施を予定している 7 団地 10 棟について、耐震性、構造安全性、避難安全性、居住性、事業性等について評価を行った。

2) 耐震診断・耐震改修評定事業の実施

耐震診断・耐震改修評定委員会（委員長：小濱 芳朗 名古屋市立大学名誉教授）において 11 件の耐震改修計画の評定を行うとともに、82 件の耐震診断等の評定を行った。

3) 優良補修・改修工法等評価事業の実施

補修・改修に関連して優良な工法であると評価されている 5 件について、BELCA NEWS や BELCA ホームページ等で周知を行った。

4. ロングライフ化を推進するための会員への情報発信と会員との協働

(1) 会員向けの情報発信の拡充

「BELCA 会員名簿 2012～2013」を発行した。また、BELCA ホームページにて、診断や改修業務を行う会員にかかる「診断実施会員リスト」及び「補修・改修実施会員リスト」を公表するとともに、正会員専用ページにおいては、BELCA NEWS のバックナンバーの掲載、ER 関連の情報提供を行う等、会員サービスの向上に努めた。

(2) エンジニアリング・レポート（ER）作成者連絡会議

ER 作成技術及び ER の品質の向上等のため、全体会議、幹事会、分科会等で情報収集、研修に努めるとともに、ER に関係する団体等と情報交換を行った。

また、今後の ER の活用・普及のための活動方策について企画・実施する普及委員会を設置した。

1) 全体会議

全体会議（議長：中島 光夫 清水建設(株)）を 3 回（うち書面開催 2 回）開催し、普及委員会の設置のために「ER 作成者連絡会議設置要綱」の改正案を審議し、決議するとともに、「不動産鑑定評価と ER」（講師：山下 誠之 公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会 証券化等鑑定評価特別委員会副委員長、伊藤 景光 公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会 証券化等鑑定評価特別委員会委員）と題する講演を行った。

2) 幹事会

幹事会（幹事長：中島 光夫 清水建設(株)）を 4 回（うち書面開催 1 回）開催し、今後の

ER 作成者連絡会議のテーマ、スケジュール、各分科会の今後のテーマや作業等に関して調整を行った。

3) 普及委員会

普及委員会（委員長：中島 光夫 清水建設(株)）を 4 回開催し、今後の ER の普及や ER の啓発等に係る活動方針を定めるための情報収集の一環として、ER 作成者連絡会議のメンバーに対して ER 作成業務の実態調査を行うとともに、ER の活用が想定される分野に対してヒアリング調査を行った。

4) 分科会

以下のとおり分科会毎に情報収集・意見交換を行った。

①建物状況調査分科会

分科会（主査：土佐林 忠史 (株)シティエボリューション）を 4 回開催し、遵法性、既存不適格等の ER 作成に係る事例の対応方法に関する意見交換を行った。また、遵法性判断に有用な関係基準や指針等の情報共有を行った。

②建物環境リスク評価分科会

分科会（主査：糸山 克平 日本管財(株)）を 6 回開催し、今後の建物環境リスク評価のニーズを探るため、「アスベストに係る諸情報」（講師：朝賀 光 一般社団法人 JATI 協会）及び「国際会計基準導入に伴う新事業分野について－資産除去債務（環境負債）主体に－」（講師：楠 浩一 (株)竹中工務店）と題する講演を開催するとともに、微量 PCB の処理施設である東京臨海リサイクルパワー(株)の見学を行った。

③土壌汚染リスク評価分科会

分科会（主査：中村 直器 (株)イー・アール・エス）を 4 回開催し、土壌汚染対策法の改正にあわせた土壌汚染リスク評価 Q&A の見直し、汚染土処理施設である早来工営株式会社の見学会を行うとともに、「放射性物質汚染対処特措法による除染への取組み」（講師：山川 公一郎 (株)竹中工務店）及び「放射性セシウムの環境動態と対策の課題」（保高 徹生 独立行政法人産業技術総合研究所）と題する講演を開催した。

④地震リスク評価分科会

分科会（主査：東 知宏 東京海上日動リスクコンサルティング(株)）を 5 回開催し、ER 利用者に地震リスク評価を正しく理解してもらうために地震リスク評価 Q&A の作成を行った。

5) その他

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会より依頼のあった「不動産鑑定士資格取得後研修教材の作成及び講義の収録」及び「証券化対象不動産の鑑定評価に係る応用研修」における講義「エンジニアリング・レポート関連～建物状況（遵法性）～」に対して講師の派遣を行うとともに、一般社団法人不動産証券化協会より依頼のあった「マスター養成講座コースⅠ」及び「マスター継続教育」に対して講師の派遣を行った。

また、国土交通省土地・建設産業局の実施している証券化対象不動産の鑑定評価についてモニタリングを行い、必要に応じて所要の措置を講じる「証券化対象不動産鑑定評価フォローアップ委員会」へ参加した。

(3) マンション診断の普及

マンションの定期的な診断の普及推進を図るため、BELCA が定める登録基準を満たす会員 4 社を「マンションドック」として登録し、BELCA ホームページや展示会等で「マンションドック」の普及・周知活動を行った。

(4) 外壁診断に係る総合保険の普及

会員が外壁診断を行った建物における外壁落下事故等に関して、当該の会員及び建物所有者を被保険者として保険金が支払われる外壁診断総合保険の普及を図った。

5. その他の活動

(1) 一般社団法人環境不動産普及促進機構への参加

耐震・環境性能を有する良質な環境不動産の普及啓発、調査研究及び情報提供等を行う「一般社団法人環境不動産普及促進機構」の設立に参加した。

(2) 他団体との情報交換

「既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会」、「建築物防災推進協議会」、「建築研究開発コンソーシアム」、「一般社団法人住宅リフォーム推進協議会」、「ASTM（米国材料試験協会：American Society for Testing and Materials）」に参加する等、関係団体との情報交換を行った。

(3) 後援・協賛

他団体等の事業 33 件について、後援・協賛を行った。